

## 第 23 回長泉町産業祭における「J クレジット制度」の活用

### J クレジット制度とは

現在、国では SDGs（持続可能な開発に向けた国際社会共通の目標）の達成のため、あらゆる分野で施策を展開しております。環境対策においては、エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づき、一定規模以上の民間企業や公共団体において、二酸化炭素削減目標の達成が義務づけられ、目標の達成ができない場合には環境省からの指導があり、民間を含めた環境対策を講じております。

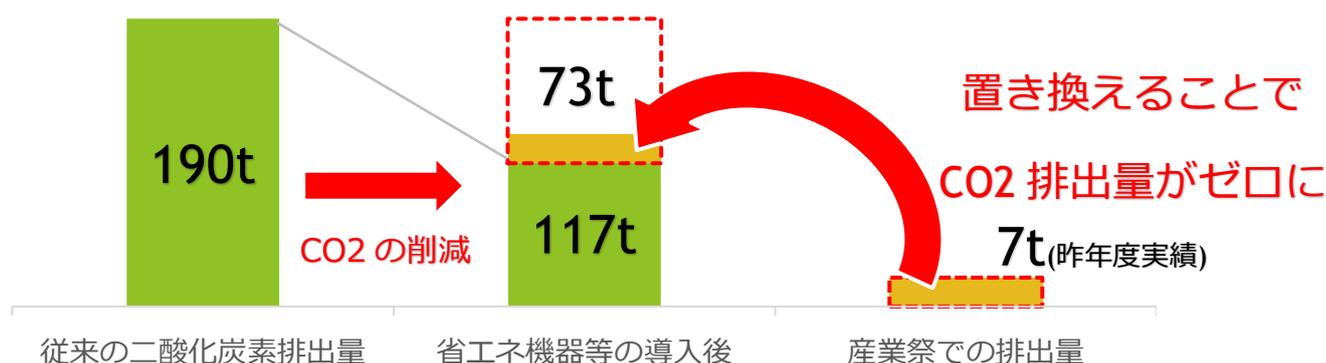
町においても、長泉町環境基本計画に基づき、省エネルギー機器の利用推進といった持続可能な開発に向けた施策を民間企業や団体とともに連携し展開しております。この中で新たに地球温暖化防止対策として実施したいのが、環境省の推進する「J クレジット制度」です。

この制度は、省エネルギー機器の導入などの取り組みによる、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減量を「クレジット」として国が認証する制度です。

この制度から創出されたクレジットは、ある場所で排出された二酸化炭素を、二酸化炭素の排出量の削減を行った他の場所で発生したと置き換える方法（カーボンオフセットなど）により、民間企業で二酸化炭素削減目標が達成できない場合に利用するなど様々な用途に活用されています。

長泉町産業祭は、多くの町民の皆様が来場する盛大な催しであり、人や物の流通により多くの二酸化炭素が排出されますが、今回、この制度を活用し置き換えること（カーボンオフセット）で地球環境に配慮した催しとなります。

### シャリエ長泉グランマークスの二酸化炭素削減量を産業祭で置き換えた場合



### シャリエ長泉グランマークスにおける二酸化炭素排出量の削減

シャリエ長泉グランマークスでの二酸化炭素排出削減量は、従来と省エネ機器が導入された場合を比べ、昨年度、73t/年が削減された実績があり、今年度以降には約 90～100t/年の削減を予想しています。

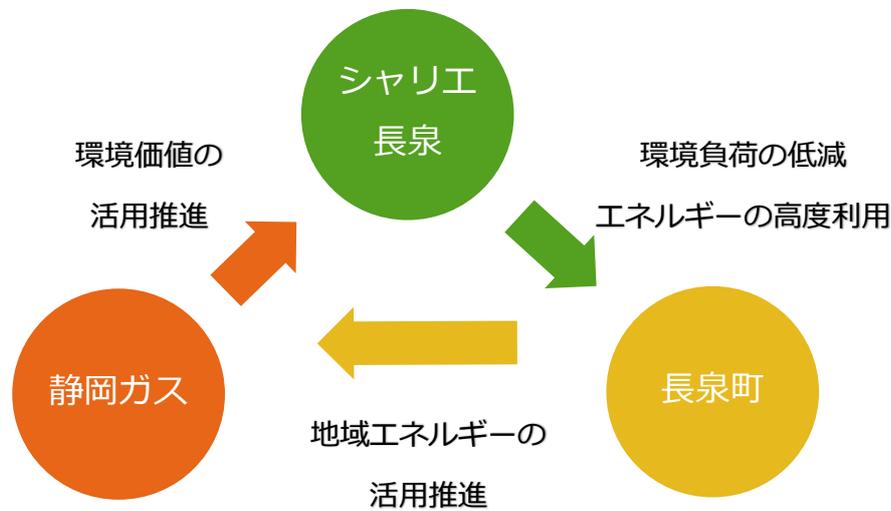
なお、削減された二酸化炭素排出量は、平成 30 年 10 月 4 日付の J クレジット認証委員会で正式に J クレジットとしての認証を受けております。

※平成 29 年度削減分の 73t/年は認証済みであり、平成 30 年度以降削減分の約 90～100t/年は毎年度認証予定です。

## 環境創造型まちづくり協定

平成 27 年 9 月 29 日に、静岡ガス(株)と東レ建設(株)、長泉町の 3 者で環境創造型まちづくり協定を締結しました。その中で以下の内容を連携していくことを定めています。

- 1 環境負荷の低減とこれによって生み出される環境価値の活用推進
- 2 エネルギーの高度利用
- 3 地域エネルギー資源の活用推進
- 4 上記の取り組みを通じた地域コミュニティの形成と地域活性化



## 第 22 回長泉町産業祭における二酸化炭素排出状況（概算）

昨年度の産業祭では、二酸化炭素が以下のとおり排出されていました。

件名	二酸化炭素排出量 (kg)	備考
車両の使用（運営）	205.62	フォークリフト、軽トラックなど
車両の移動（来場者）	6384.57	約 2750 台が来場した
車両の移動（出展者）	232.17	約 100 台が使用された
車両の移動（関係者）	116.08	約 50 台が使用された
その他	46.43	発電機など
合計	6984.87 (6.98 t)	